

秋のライトアップイベントが庭園アートにリニューアル!

そうぶんの月灯り —アートの庭— 2025

えがおの光
魅せる影

「光をあてると浮かび上がる影の世界」 in 茶室

影アーティスト 佐藤江未

「ひかりの実」 in 日本庭園

美術家 高橋匡太

「ミライへつなぐ伊勢型紙」 in 日本庭園

伊勢型紙彫師 那須恵子

観覧無料
雨天開催

11月23日(日)、30日(日)は
夜空の下でほっこり
「月灯りカフェ」も!

紅葉の
ライトアップ
あり!

2025.

11.22 土 ▶ 12.7 日

16:00~19:00(金・土・日は20:00まで)

※11/25(火)、12/1(月)休館

三重県総合文化センター 日本庭園 および 茶室

津市一身田上津部田1234

主催 三重県総合文化センター総務部【指定管理者:公益財団法人三重県文化振興事業団】
TEL059-233-1105 web <https://www.center-mie.or.jp> X Mie_soubun @ mie_soubun

そうぶんの月灯り
詳細はこちら



そうぶんのライトアップイベントが、今年から新しい屋外アートイベントにリニューアル！
今年のテーマは「えがおの光 魅せる影」。
フレンテみえ裏にある、日本庭園を「えがおの光」がやわらかく彩ります。
他にも、職人の技が光る、三重県の伝統工芸伊勢型紙の展示や、
日本庭園にたたずむ茶室では不思議な「影アート」展も。
秋の夜長、そうぶんの裏庭で「ゆったり散歩」しませんか？

関連イベント

ひかりの実をつくって、かざろう！

11月23日(日・祝) 16:00～ 会場:生活工房

参加無料 どなたでも参加可能【限定50個 なくなり次第終了】

参加型ワークショップです。大切な人の「えがお」を、
あなたも作って日本庭園に灯してみませんか？

【事前申込不要】



伊勢型紙で型紙染めポーチをつくろう！

11月30日(日) 16:30～、18:30～(各回60分程度) 会場:生活工房

体験費:600円 どなたでも参加可能 定員:各回15名

伊勢型紙は染め物用の型紙。

職人制作の伊勢型紙を使って、ポーチを染めて模様をつけてみよう！
つくったポーチはお持ち帰りいただけます。

※伊勢型紙を彫る体験ではありません

【事前申込優先・先着順】



申込フォーム



月灯りカフェ 11月23日(日・祝)、11月30日(日) 16:00～19:00

秋の夜長に、そうぶんの裏庭で、ゆったりほっこりしませんか？

アートを楽しみながら、おなかもほっこり。温かい飲み物や食べ物をお求めいただけます。

総文パープル・ライトアップ2025

毎年11月12日～25日の2週間は内閣府の定める「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。
フレンテみえでは、この活動のシンボルであるパープルリボンにちなんで
「総文パープル・ライトアップ」を実施します。関連展示も行いますので、ぜひ併せてご覧ください。



えがおの光 魅せる影



紅葉の
ライトアップ
あり！

おでかけMikke



11月23日(日・祝) 16:00～19:00

※売切れ次第終了します。

県内人気店のスイーツなどを集め
Mikkeが出張販売！
あたたかい飲み物もご用意します。

- ・やまなみベーグル
- ・koie
- ・CAFE SNUG
- ・unweekend
- ・lalasweets and more!

その他、詳細は
Instagramで随時ご紹介！



@mikke.mie

ひかりの実

美術家

高橋匡太

たかはし きょうた



光をあてると 浮かび上がる 影の世界

影アーティスト

佐藤江未

さとう えみ



ミライへつなぐ 伊勢型紙

伊勢型紙彫師

那須恵子

なす けいこ



1970年京都生まれ。京都在住。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。
光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

2020年から本格的に影アート製作を始める。
廃材や身近な日用品など、普段は捨てられるような素材を積んだオブジェに光を当てると、人影などの物語性のあるシルエットが浮かび上がる作品を手掛ける。素材から想像できない驚きの影を出現させることを目指している。これまでテレビや新聞、WEBなどのメディアに30本以上出演・紹介。美術館やギャラリーでの作品展示をはじめ、ブランドムービーや店舗イベントの専用作品製作も精力的に行う。

2010年に鈴鹿に移住し、型彫師の生田嘉範氏に師事。制作の傍ら、国内外で実演やワークショップを行い、伊勢型紙の普及・振興にも尽力。伊勢型紙とは着物や浴衣、手ぬぐいや印伝など工芸職人が使う染色道具。日本が誇る伝統の手わざである伊勢型紙を未来につなぐため「型紙が100年先も染め手を支え、型紙で心を伝える」を目標に活動。伊勢型紙彫刻組合組合員。
日本伝統工芸展(2022)・染織展(2023) 藍田愛郎氏染めで江戸小紋着尺が受賞



最新情報は、三重県総合文化センターホームページやSNSで随時お知らせします。お楽しみに！

✕ Mie_soubun @mie_soubun

観覧時の お願い

※観覧時は、マナーを守ってお楽しみください。

※明るい照明を利用した写真撮影はご遠慮ください。

三脚のご使用は周りの皆様へご配慮いただき、長時間にわたる占有はご遠慮いただきますようお願いいたします。

※作品への接触、展示スペースへの立ち入りはご遠慮ください。

※ペットを連れたイベントへの参加はできません(補助犬をのぞく)。ご了承ください。

※諸般の事情により、開催内容・時期・時間が変更になる場合がございます。最新情報はホームページやSNSでご確認ください。

※催しによっては、駐車場が混雑する場合がございます。駐車場混雑情報はホームページにて公開しております。お出かけ前にご確認ください。

会場への行き方

駐車場のご案内



「茶室」のあるエリアが
「日本庭園」です